

# GENERAL DYNAMICS F-16A

1/72スケールシリーズ KIT No. JS-110  
ジェネラルダイナミクス F-16A



## 《ジェネラルダイナミクスF-16Aについて》

アメリカ空軍ではF-4ファントムの後継機にF-15イーグルを決定しました。イーグルの性能は素晴らしいものですが、機体価格が高いためさすがのU.S.A.Fも多数をそろえるだけの予算を議会に承認されませんでした。そのため、以前より空軍が実験的に進めていた軽量戦闘機計画(LWF)がクローズアップされました。9社の案の中からLWF計画には1位ジェネラル・ダイナミクス案、2位ノースロップ案が採用され、YF-16及びYF-17として原型2機の試作が発注されました。空軍ではイーグルの補助として、YF-16とYF-17の優秀な方を採用して使うというハイ・ローミックス論を取り入れることとなりました。結局コンペではYF-16に軍配が上がり空戦戦闘機(ACF)として採用されることとなりました。

以上の様な経過で開発されたYF-16は、1973年12月13日にロールアウト、1974年2月2日に1号機が初飛行、続いて2号機が5月9日に初飛行しました。F-16はその特異な外形から想像できるように、新時代の戦闘機として急進的とも言える新技術を駆使しています。第1はブレンディッド・ウィング・ボディと言われる胴体の断面形状で、正面図を見ればわかる様に、胴体と主翼がなだらかなカーブでつながっている形状を言います。これにより胴体内容積を増し、また揚力を一部胴体に負担させることで実質的に翼面荷重の低減になります。第2は可変キャンバー方式の採用です。これは前縁のフルスパン・フラップ及び後縁フラップの採用で実質的にキャンバーを変えてしまうわけで、しかもコンピューターを介しているため、あらゆる条件下で最適のキャンバーが得ら

れます。したがって旋回性能は飛躍的に向上しています。第3はフライ・バイ・ワイヤー方式の本格的採用です。これはケーブルやロッド等を用いて操舵していたものをやめて電氣的に三舵をコントロールする方式を採用したものです。これも途中でアナログ・コンピューターを介しているためいかなる速度でも最適の操舵角がえられます。このため機体の固有安定性を小さくでき、したがって重量軽減に役立っています。またこのシステムの採用により従来のような操縦桿がなくなり、右側に小さなコントロール・スティックがつくだけです。パイロットはコンピューターにデータをインプットするだけなのでスティック、フットペダルとも動かす量はごくわずかです。上記の新技術の採用で旋回性能は飛躍的に向上しましたが、そのため従来のシートセッティングではパイロットがGに耐えきれなくなりました。これを克服するためシートを30°後方に傾けてあります。これにより6G~7Gの連続旋回にもパイロットは充分耐えられるようになりました。

F-16は数々の新機軸を盛り込んだ新時代の戦闘機ですが、現在の2機は実験的な性格の試作機です。ACF用の量産型は各部を改修して1976年中に登場することでしょう。

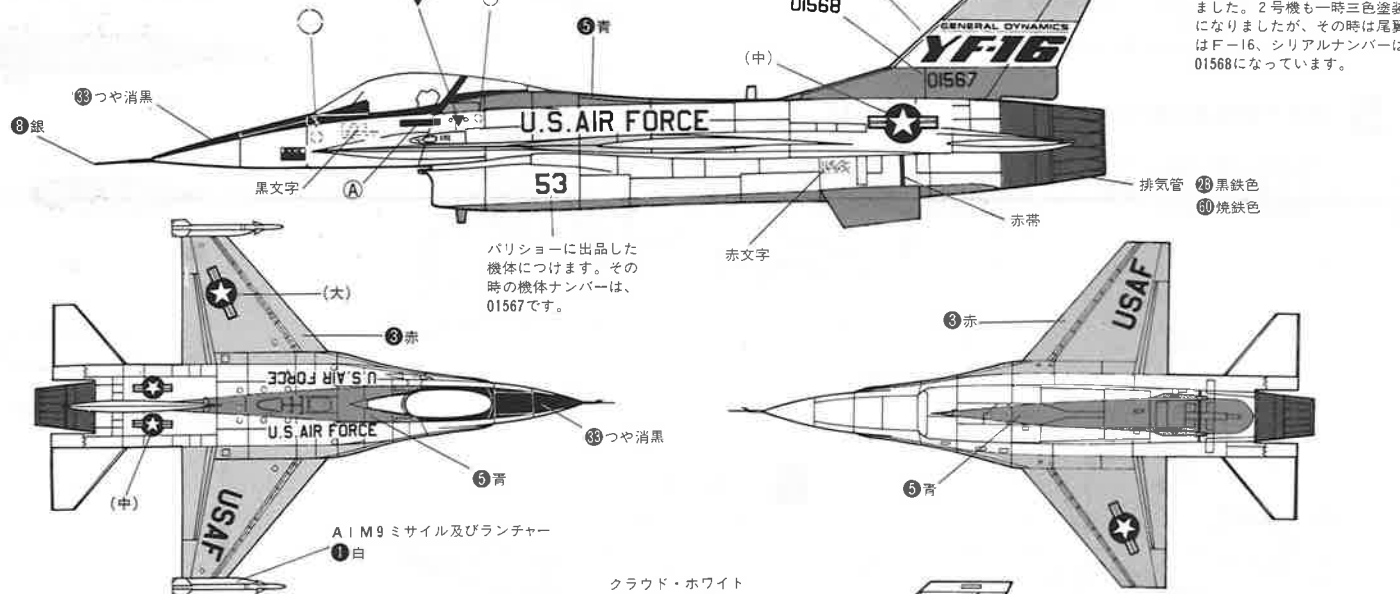
## 《DATA》

全幅:10.01m(ミサイル含む)、全長:14.65m、全高:5.01m、翼面積:27.9m<sup>2</sup>、離陸重量:14,970kg、エンジン:P&W F100-PW-100 推力:11,400kg、最大速度:Mach 2.0/12,100m、武装:20mm M61バールカン砲×1、AIM9AAM×2。

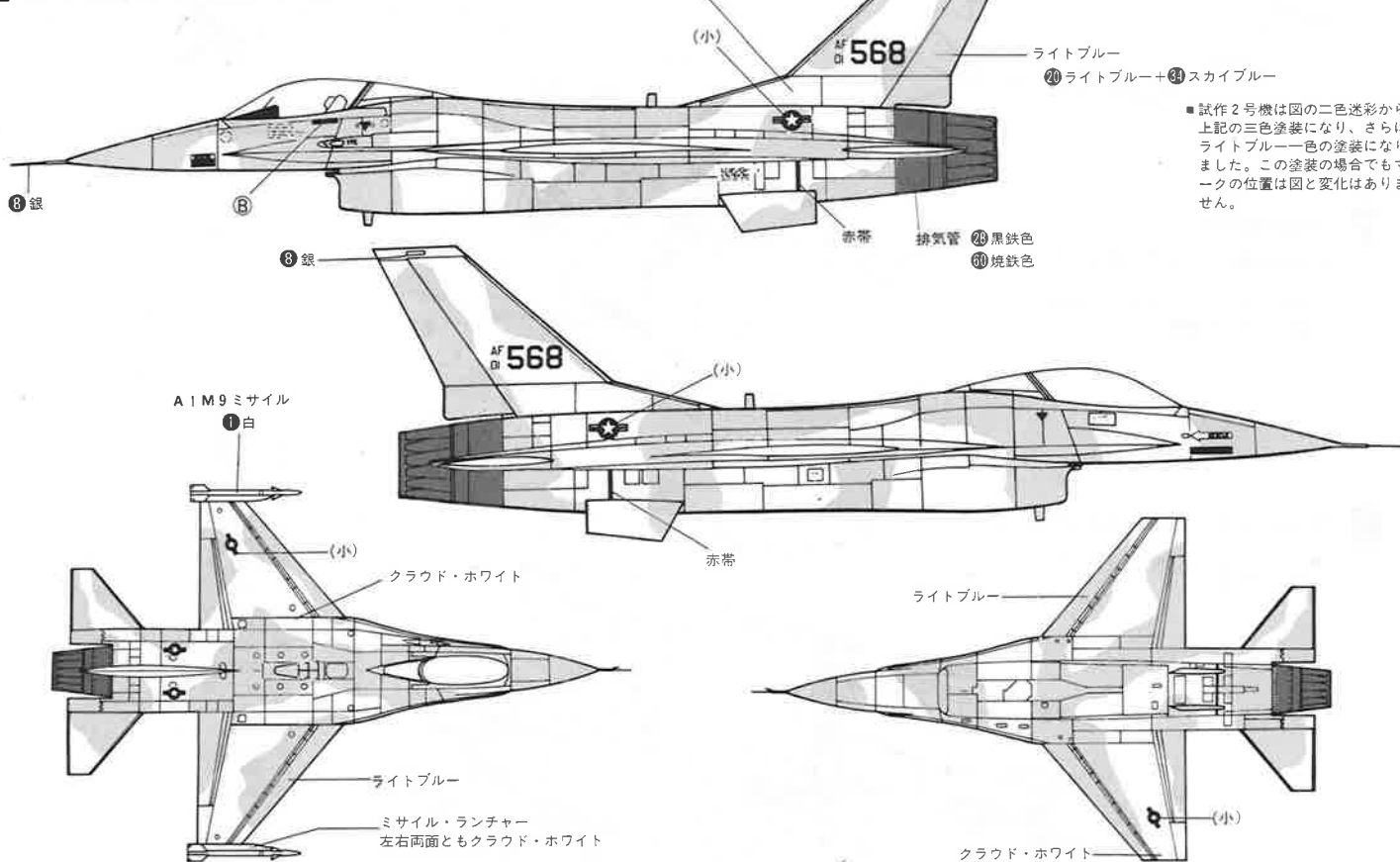
## Marking & Color Painting Guide

### 《マーキング及び塗装参考図》

#### 1 試作1号機 シリアルナンバー72-1567



#### 2 試作2号機 シリアルナンバー72-1568



### F-16の塗装について

YF-16は2機しか作られなかったため塗装の变化はあまりありません。1号機はグロスの赤、白、青のトリコロール塗装、2号機は最初がライトブルーとクラウド・ホワイトの迷彩でしたが、後にライトブルー一色になりました。ライトブルーは④ライトブルーに⑤スカイブルーを加えて下さい。クラウド・ホワイトは①白に②黒及び③黄橙色をごく微量加えて下さい。全体の調子はセミグロスです。脚柱は①白、ホイール及び脚カバー内側も①白です。

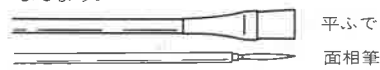
### スライドマークのはり方

1. マークを台紙から切り抜き、まわりの透明な部分を切りとっておきます。
2. 水に20秒位浮かべてください。
3. マークを台紙からずらして所定の位置におき、台紙をずらして抜きとります。
4. マークの上からやわらかい布でおさえ、余分な水分と糊をおしだしてください。

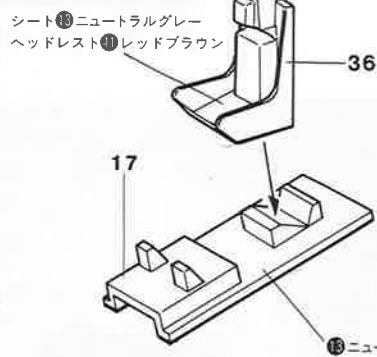


①~⑧の番号はモデルカラーの番号です。くみだてたらかならず色をぬってすばらしいモデルを作りましょう。

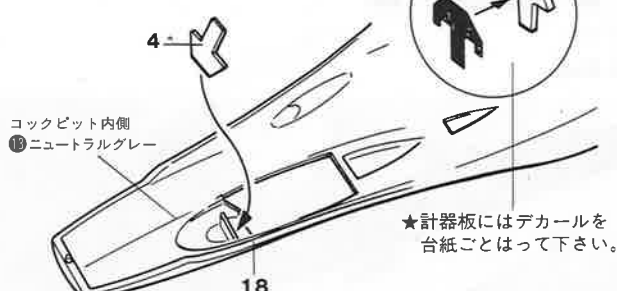
筆は広い部分を塗る平筆と、小さな部分を塗る細筆を用意し、塗る部分によって使い分けましょう。



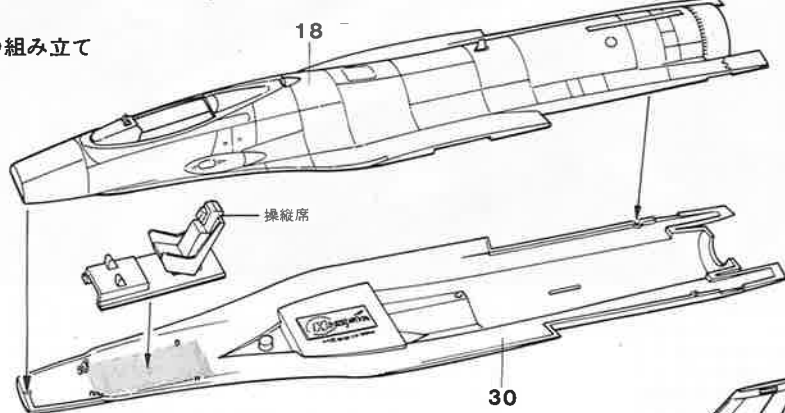
# 1 操縦席の組み立て



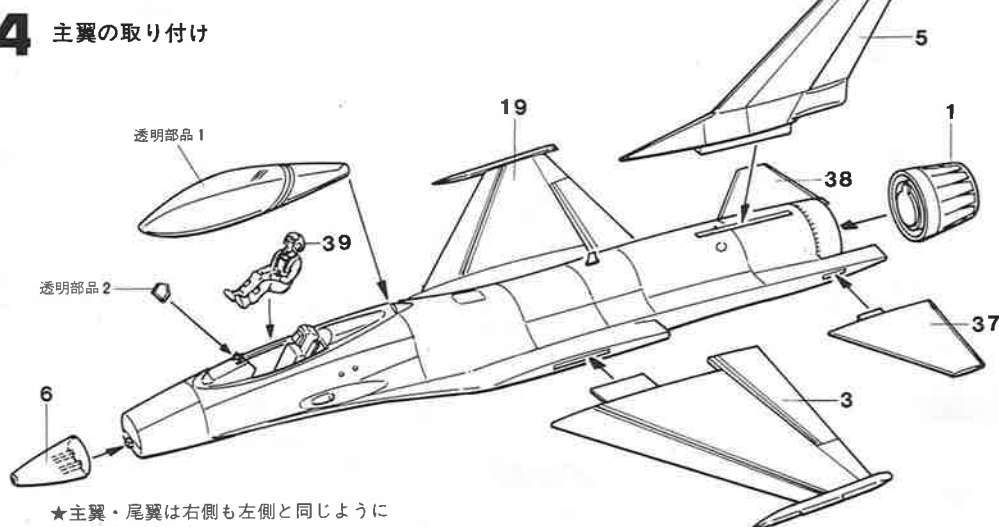
# 2 計器板の取り付け



# 3 胴体の組み立て



# 4 主翼の取り付け

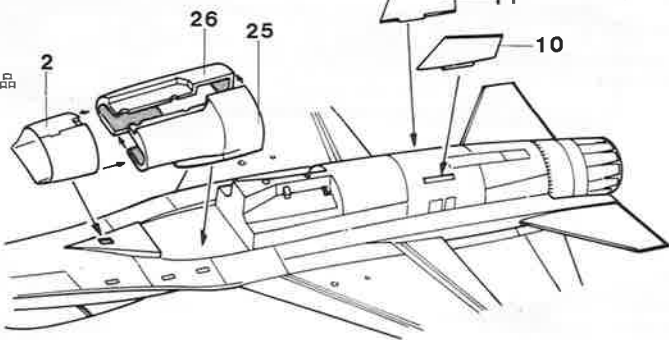


★主翼・尾翼は右側も左側と同じように組み立ててください。  
★人形は塗装してから取り付けて下さい。

★10、11は、左右に注意して取り付けて下さい。

# 5 胴体下部部品の取り付け

★部品25、26を接着してから、部品2を取り付けながら胴体に接着して下さい。



# 7 主脚の取り付け

★右側車輪も同じように組み立てて下さい。  
★脚柱、ホイール、脚カバー内側は①白、オレオ②銀。

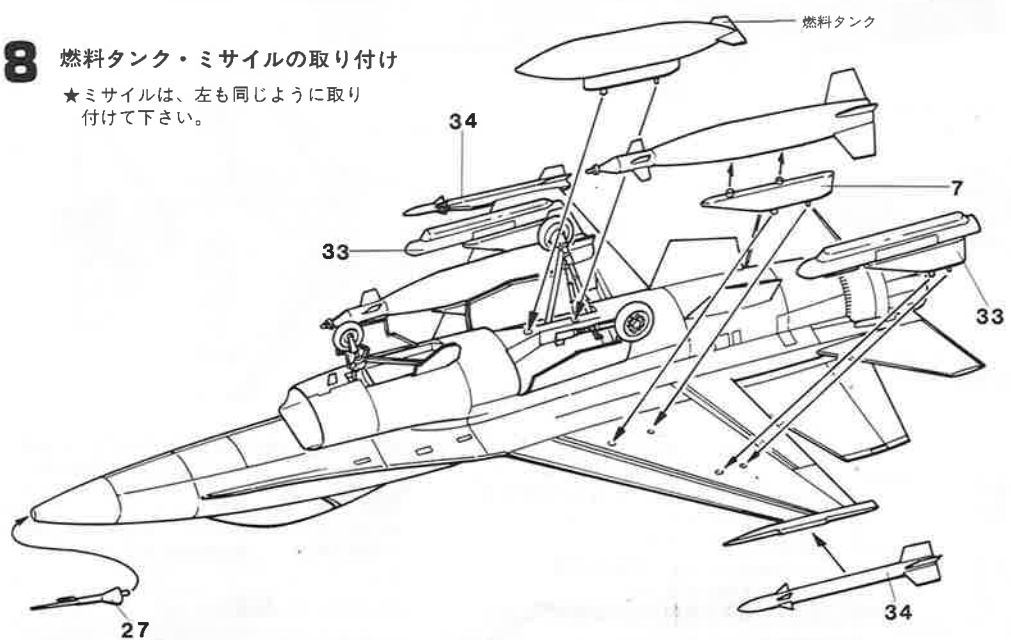
# 6 前脚の取り付け

★脚カバー35は、切りはなしてから取り付けて下さい。

★点線のところで切りはなして下さい。

# 8 燃料タンク・ミサイルの取り付け

★ミサイルは、左も同じように取り付けて下さい。



★くみだてるまえに

- 説明書をよく見て、指示に従って作ってください。
- 部品をランナーから切りはなす時はニッパー又は、カッターを使ってください。
- 接着剤は、組み立てる部品の両方に少しづつぬって接着して下さい。
- 接着する前にセロテープ等で仮に組んで形をたしかめて下さい。



## ★ モデルカラー

①～⑯の番号はモデルカラーの番号です。くみだてたらかならず色をぬってすばらしいモデルを作りましょう。

図-1 パイロットは塗装してからシートに接着します。コックピット部分は明るいグレー、暗いグレーをつかいわけて塗装して下さい。

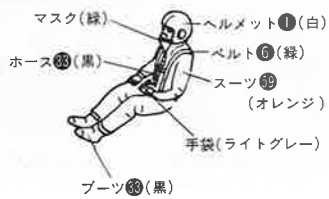


図-2 増加タンク、ミサイルの組み立て

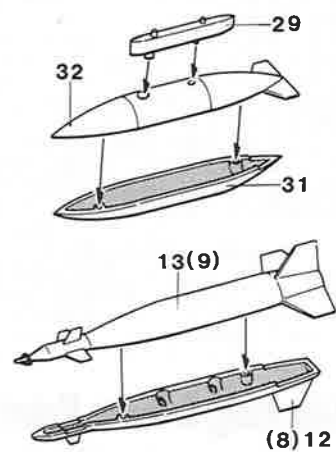


図-3 武装品の塗装

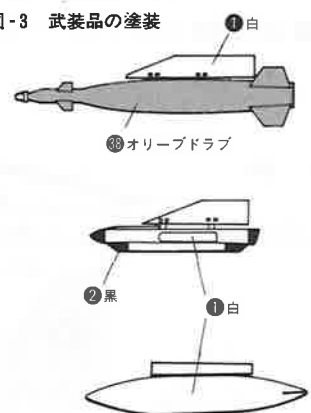
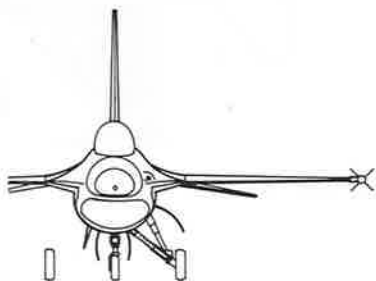


図-4 脚カバーの取り付け角度は、下の図を参考にして下さい。



### 《部品番号および名称》

1. 排気管
2. インテーク
3. 主翼 (左)
4. 計器板
5. 垂直尾翼
6. ノーズコーン
7. パイロン (A)
8. レーザーガイド爆弾
9. レーザーガイド爆弾
10. フィン (右)
11. フィン (左)
12. レーザーガイド爆弾
13. レーザーガイド爆弾
14. 前脚
15. 主脚 (右)
16. 主脚 (左)
17. コックピットフロア
18. 胴体 (上)
19. 主翼 (右)
20. 主車輪
21. 主脚 (右)
22. 主脚 (左)
23. 主脚支柱
24. 主脚支柱
25. 胴体下部部品 (右)
26. 胴体下部部品 (左)
27. ビーター管
28. アンテナ
29. パイロン (B)
30. 胴体 (下)
31. 燃料タンク (下)
32. 燃料タンク (上)
33. ジャミング・ポッド
34. AIM9・サイドワインダー
35. 前脚扉
36. パイロットシート
37. 水平尾翼 (左)
38. 水平尾翼 (右)
39. パイロット
- 透明部品 1 キャンピー
- 透明部品 2 ヘッドアップディスプレイ

家庭用品品質表示法による接着剤品質表示  
取扱い上の注意 1. 幼児の手の届かないところに保存し、  
いたづらをしてはならない様注意して下さい。  
2. 火気に注意し換気をよくして下さい。  
3. 故意に吸わない様注意して下さい。  
表 示 番 SZ 3000 SZ 3006 SZ 5013